

# 東白杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年2月 東白杵農林振興局  
(東白杵南部農業改良普及センター)



東白杵南部農業改良普及センター  
ホームページ

## 目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2)
  - 1 【全域】東白杵南部農業改良普及事業協議会及び宮崎県農業経営指導士会南部支部合同会議を開催
  - 2 【全域】県北3地区合同農業経営指導士交流会を開催
  - 3 【全域】新規就農者確保へ活発な意見交換 第2回担い手地域キャラバンが開催
  - 4 【日向市・美郷町】完熟きんかん感謝祭が開催
  
- II 主な普及指導活動等の取組
  - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動 (P 3～5)
    - [総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]
    - [専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミニトマト、ほうれんそう(椎葉)、へべす、スイートピー 等]
    - 1 【全域】みやざき次世代農業リーダー養成講座の聴講
    - 2 【諸塚村・美郷町】認定農業者の農業経営改善計画書作成支援
    - 3 【椎葉村】畜産経営体の経営改善に関する検討会の開催
    - 4 【日向市】スイートピーで夢をつかむ新規就農経営モデルを検証
    - 5 【日向市】就農相談会『マイナビ農林水産FEST』で相談対応
    - 6 【日向市】きんかん収穫で農福連携マッチング成立
    - 7 【全域】生き残る和牛繁殖農家のための「資金管理術」研修会を開催
    - 8 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】スイートピーの時期別栽培管理を指導
    - 9 【日向市・諸塚村・美郷町】日向地区管内ミニトマト講習会
    - 10 【椎葉村】認定農業者審査会が開催
  
  - 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動) (P 6～7)
    - 1 【日向市】和牛改良組合員に適切な堆肥化に向けた情報を提供
    - 2 【美郷町】茶苗育苗現地調査
    - 3 【日向市】促成きゅうりのハウス内環境に基づく栽培管理を指導
    - 4 【日向市・美郷町】シキミの産地維持に向けた事例調査の実施
    - 5 【椎葉村】夏秋ミニトマト生産者の個別面談を実施

# I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

## 1 【全域】東臼杵南部農業改良普及事業協議会及び宮崎県農業経営指導士会南部支部合同会議を開催

16日、普及センターで管内の関係機関・団体で構成する普及事業協議会と農業経営指導士会との合同会議を開催し、31名が出席しました。

午前には、熊本県出身の農業コンサルタントである(株)農テラス山下弘幸氏をお招きし、「激変する農業情勢と中山間地域の可能性」と題し、農業経営者の視点で、現在の農業のおかれた立場や地域農業振興支援に役立つ講演をいただきました。

午後からは、普及活動の令和7年度実績と令和8年度計画に関する協議と地域農業振興に関する意見交換を実施し、質疑や御意見、御要望をいただきました。

本会でいただいた意見等については、今後の普及活動に反映させていきます。



【普及活動に関する協議】

## 2 【全域】県北3地区合同農業経営指導士交流会を開催

27日に、農業経営指導士相互の資質向上と、親睦を目的とした県北3地区の農業経営指導士交流会を開催し、農業経営指導士11名、普及職員13名が参加しました。

昨年に続き、2回目となる今回は、南部管内の門川町と美郷町の農業経営指導士ほ場の現地視察と意見交換を行いました。

門川町でのトマトの外国人材の活用による労働力確保の取組と、美郷町でのきんかんの海外輸出や産地維持の取組について説明を受け、指導士相互に活発な意見交換がされるなど、有意義な交流となりました。



【農業経営指導士の現地視察研修】

## 3 【全域】新規就農者確保へ活発な意見交換 第2回担い手地域キャラバンが開催

3日、JAみやざき日向会館で、関係者27名が出席し、宮崎県農業再生協議会主催による第2回担い手地域キャラバンが開催されました。

会では、県事務局より令和8年度の新規就農関連事業等について説明及び報告が行われました。続いて、市町村ごとの担い手確保に関する課題について意見交換が行われ、空き農地やハウスの確保、初期投資の軽減対策の必要性等について協議しました。

今回の意見は関係者間で共有し、今後の新規就農者確保に向けた対策の検討に活用します。

## 4 【日向市・美郷町】完熟きんかん感謝祭が開催

13日、14日にJA日向地区本部直売所「八菜館」の特設ブースで、「完熟きんかん感謝祭」が開催されました。

今回の感謝祭は、美郷町さいごう完熟金柑部会の産地戦略ビジョンの取組であり、両日とも多くの消費者が訪れ、特に完熟きんかん「たまたまエクセレント」や「たまたま2L、3L」の化粧箱など贈答用の商品の売れ行きが好調でした。感謝祭を通して部会員が消費者に対し地域の完熟きんかんの魅力をPRする良い機会となりました。



【きんかん感謝祭】

## II 主な普及指導活動等の取組

### 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]

[専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミヅバ、ほうれんそう(椎葉)、へべす、スイートピー 等]

#### 1 【全域】みやざき次世代農業リーダー養成講座の聴講

6日、「みやざき次世代農業リーダー養成講座」が開催され、2名の若手農業者が普及センターでオンライン受講しました。

(株)加藤えのきの加藤代表取締役の実体験に基づき、成功の鍵となるポイントや失敗談について紹介があり、気づいた時に改善することの大切さを学ぶ良い機会となりました。

#### 2 【諸塚村・美郷町】認定農業者の農業経営改善計画書作成支援

認定農業者の農業経営改善計画申請に向けて、2日に諸塚村役場で更新1件、4日と18日に美郷町役場で更新4件の作成支援を行いました。

前回の計画目標と現状を確認し、今後5年間の経営発展に向けた改善計画の検討と、新たな目標設定を行いました。

生産コストが上昇する厳しい情勢ですが、安定的に所得確保するための戦略を検討する有意義な場となりました。

#### 3 【椎葉村】畜産経営体の経営改善に関する検討会の開催

3日、椎葉村内の農場で、畜産経営体における経営改善に向けた検討会が開催されました。

会では、経営面と飼養管理面それぞれに経営改善に向けた提案があり、獣医師作成の子牛の分娩事故抑制や疾病対策などの支援プログラムに沿って、経営改善に取り組むこととなりました。

今後は、取組経過の確認を行いながら、引き続き経営改善に向け伴走支援を行います。

#### 4 【日向市】スイートピーで夢をつかむ新規就農経営モデルを検証

3日、普及センターで、JAの営農担当、花き担当、普及センターの地域振興担当、花き担当の計6名が参集し、スイートピーによる新規就農に向けた経営モデル検討会を実施しました。

今回は、日向市にて夫婦2人で就農するケースについて検討しました。その結果、前提条件として賃借可能なハウスが確保され、国の各種事業を活用できれば、小面積でも認定新規就農者の所得目標を達成できる試算となりました。

今後も、地域内の主要品目について多様な経営モデルの検討を行い、新規就農者の確保に向け取り組んでいきます。

## 5 【日向市】就農相談会『マイナビ農林水産FEST』で相談対応

14日、福岡市で「マイナビ農林水産FEST」が開催され、九州各県の行政機関や農業法人等から約20ブースが出展し、講演や就農相談が行われました。管内からは日向市が出展し、普及センターも同行して相談対応を行いました。

日向市ブースの相談は4件で、法人での雇用就農や、趣味であるサーフィンを重視した小規模農業を希望する方など、多様な内容でした。市及び普及センターからは、地域で就農可能な品目の紹介に加え、雇用就農希望者に対し、農業分野の求人サイトや短期雇用向けマッチングアプリ等の情報提供を行いました。

今後も関係機関と連携し、多様な就農希望者に対応できる受入体制の強化に努めます。



【日向市ブース】

## 6 【日向市】きんかん収穫で農福連携マッチング成立

24日、日向市内のきんかんハウスで、生産者、就労継続支援B型事業所、県農福連携推進センター、普及センター等計7名が参集し、きんかんの収穫終期にあたる一斉収穫時の農福連携の取組に向け、現地検討会を行いました。

会では、はじめに生産者から収穫作業の説明があり、その後出席者で作業上の注意点や就業環境の確認等を行いました。その結果、生産者1戸とB型事業所1ヶ所とのマッチングが成立し、3月から農福連携によるきんかんの収穫作業が開始されることになりました。

今後も各品目の労働力確保に向け、関係機関と連携して支援していきます。



【現地検討会】

## 7 【全域】生き残る和牛繁殖農家のための「資金管理術」研修会を開催

5日、若手和牛繁殖農家を対象とした畜産経営研修会を普及センターで開催し、夫婦2組を含む畜産農家7名、関係者5名が参加しました。

研修では、農業経営指導士の藤島文彦氏から償還表から見る資金繰り計画の重要性についてご自身の経験を踏まえながら講演いただきました。また、普及センター職員より、動態表とライフプラン作成の必要性とワーク演習を実施しました。

講演の最後に、参加した2組の夫婦を含む5名が、動態表やライフプラン、資金収支計画の作成に関心を示し、実践に向けての意欲がみられました。



【農業経営指導士の講演を熱心に聴く参加者】

## 8 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】スイートピーの時期別栽培管理を指導

9日、美郷町北郷の生産者ほ場で生産者4名、関係者3名が参加し、JAみやざき日向地区本部スイートピー部会の現地検討会が開催されました。

12月後半から降雨がなく、ほ場の乾燥状態が続いていたことや、2月後半も晴天が続く予報であったことから、かん水不足により切り花の長さが短くならないよう、日射量増加を意識したかん水管理を指導しました。生産者間でも現在の管理状況や使用している肥料の種類やかん水の頻度について情報交換が行われました。

卒業・入学式等の需要期を迎えるため、高品質なスイートピーが出荷ができるよう、関係者と協力して支援していきます。



【生育を見て肥培管理の情報交換】

## 9 【日向市・諸塚村・美郷町】日向地区管内ミニトマト講習会

17日、美郷町生産者のほ場で生産者26名、関係者8名が参加し、ミニトマトの効率的な栽培管理やコナジラミの防除について講習会が開催されました。

近年多発するコナジラミ類の効果的な防除方法の習得と、作業遅れを防ぎ効率的な栽培管理を可能にする「ブロック管理」の普及を目的に、講師はJAみやざき日向地区本部冬春ミニトマト専門部会長の田村勝幸氏が務めました。

防除については、動力噴霧器を使って水圧や噴口の工夫をした実演が行われました。普及センターからは、気門封鎖剤を活用した防除について説明を行いました。

当日は、ほおずき生産者も参加し、活発な質問や意見交換が行われるなど、有意義な講習会となりました。



【防除時の水圧を実演して説明】

## 10 【椎葉村】認定農業者審査会が開催

24日、椎葉村役場で認定農業者の農業経営改善計画認定審査会が開催され、関係者3名が出席しました。再認定10件、新規1件について審査を行い、現状と目標の妥当性や今後の取り組み意欲を確認しました。

生産コストの上昇や夏季高温等で厳しい生産情勢が続く中、それぞれが課題を明確化しつつ所得向上を目指した計画がたてられていました。経営品目別で肉用牛繁殖6件、夏秋ミニトマト5件を含め、全11件が承認となりました。椎葉村では複合経営が主体となっており、主たる品目に原木椎茸や七草等を組み合わせ、年間を通した所得確保が図られています。

## 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

### 1 【日向市】和牛改良組合員に適切な堆肥化に向けた情報を提供

13日、日向市和牛改良組合員を対象とした畜産研修会が日向市内で開催され、畜産農家31名、関係者15名が参加しました。

研修では、家畜市場から1月セリの成績を含めた情勢報告がありました。普及センターからは良質堆肥について、適切な堆肥化が雑草抑制などのコストダウンに繋がることや、堆肥化に必要な6つの条件を紹介しました。

参加者からは、未熟堆肥のデメリットに関する質問が上がり、良質な堆肥化に関する高い関心が伺えました。

### 2 【美郷町】茶苗育苗現地調査

5日、生産者2名と関係者5名で令和8年春植用茶苗の生産現地確認を行いました。

美郷町の育苗施設では6品種、約9万本の苗を栽培しており、3月頃に出荷される予定です。近年は育苗期間中の高温等の影響により、苗の品質低下が見られることから、今回の調査では、苗の生育状況の確認と次年度に向けた茶苗の品質改善対策について協議を行いました。改善対策については、県茶業協会や普及センターからの提案を基に、令和8年度の具体的な取組事項を整理しました。

今後も県茶業協会や茶業支場と連携して茶苗の品質向上に向けた対策支援を行っていきます。



【次年度の改善対策の協議】

### 3 【日向市】促成きゅうりのハウス内環境に基づく栽培管理を指導

4日、日向市で生産者8名のきゅうりほ場の巡回指導を関係者3名で行いました。また、5日には、管内のきゅうり生産者2名が参加する「みやざきデジタル施設園芸産地構築プロジェクト（通称Dプロ）」の地域ワーキンググループを開催しました。

今回の地域ワーキンググループでは、巡回時に話題に上がった「飽差」\*をキーワードにハウス内の環境を分析しました。1日の飽差の動きを可視化したことで変動が大きいことが分かり、温度や湿度管理の改善提案や意見交換に繋がりました。

今後も、環境データを分析しつつ、生育調査の結果から、天候と植物の状態に合わせた管理ができるよう支援していきます。



【きゅうりの生育状況】

\*飽差（ほうさ）：1 m<sup>3</sup>の通気中にとどれだけ水蒸気を含むことができるかの指標。作物の最適値にあわせることで、光合成効率を最大化することができる。

## 4 【日向市・美郷町】シキミの産地維持に向けた事例調査の実施

5日、JAみやざき日向地区本部シキミ部会の生産者7名、関係者6名が参加し、小林市で先進地調査を実施しました。

今回の視察では、シキミ部会の第三者承継を考えていくため、JAみやざきこぼやし地区本部マンゴー部会の取組を学ぶとともに意見交換を行いました。

視察では、マンゴー部会の産地を維持するための就農希望者の受入体制や園地台帳整備の取組に至った経緯等を知ることができました。

シキミ生産者からは、まずは実態把握をし、目標設定と新たな担い手を確保するために魅力ある産地作りが必要だという前向きな意見が出されました。

また、今回の視察を受けて、19日にシキミ部会の各支部代表者ら6名と関係者7名で今後の産地維持に向けた協議が行われました。担い手対策や販売対策等について、前向きで具体的な意見が出され、有意義な会となりました。今後も、シキミ部会の意向に寄り添いながら産地維持に向けた担い手の確保や承継について支援していきます。



【意見交換で産地維持のヒントを得る参加者】

## 5 【椎葉村】夏秋ミニトマト生産者の個別面談を実施

18日、夏秋ミニトマト生産者のうち希望者1戸と駐在職員で個別面談を行いました。JAの情報をもとに整理した令和7年度産の個別実績を配付し、今作の振り返りと、来年度の目標について聞き取りました。

令和7年度産は、6月から10月は平年値を上回る気温で推移し、産地全体で盛夏時期の収量の落ち込みが激しい年となったことから、次作では夏季高温対策の強化に取り組み、単収向上を目指すことになりました。

今後は、村やJAと連携しながら夏秋ミニトマトやほうれんそうの主要品目で、希望する生産者に対して面談を行い、次年度に向けた目標設定を支援していく予定です。